

Rotary



宮崎南週報



ロータリークラブの活動を楽しもう！

宮崎南ロータリークラブ
会長 川村雅宣

第2058回例会 2020.11.30

会長／川村雅宣 幹事／島田博良
副会長／戸高勝利 会報／開地俊昭
例会場／宮崎観光ホテル
ソング／日も風も星も

会長挨拶



川村雅宣会長

1900年代の初頭 世界における平均寿命は31歳だったそうです。不老長寿を求めるのも無理からぬ事でしょう。
2017年の世界の平均寿命は71歳。たった120年で倍以上に伸びています。

以前は定年後には「余生を送る」という考え方が主流でした。定年制度が普及した1950年代は55歳で引退するのが通常でした。当時の日本人男性の平均寿命は60代半ば、余生は10年足らずという計算になります。

人生100年時代には引退後の人生が40年も続く事になります。当然、人生設計も変わってきます。高齢者の身体機能の若返りです。

1990年の65歳の歩行スピードは2000年における75歳とほぼ同じというデータがあります。10歳も身体機能が若返っているのです。

医療や食生活はもちろん健康意識の高まりも高齢者の若返りを後押ししています。

これからは個人の生活を満喫し、かつ社会にも貢献できるという新しい年齢の重ね方が必要となります。ピンピンコロリという言葉がありますが、死ぬ直前まで人生を謳歌し、いざという時あと腐れなく天国に旅立てるそういう生き方ができるといいと思います。

出席委員会報告

井上竜志委員長

●出席状況

| 本日状況 | | 前々回状況 | |
|--------|----------|------------|----------|
| 会員数 | (46) 49名 | 会員数 | (47) 48名 |
| 本日欠席者数 | 18名 | ホームクラブ出席者数 | 31名 |
| 本日出席者数 | 31名 | メークアップ数 | 2名 |
| 出席率 | 67.39% | 修正出席者数 | 33名 |
| | | 修正出席率 | 70.21% |

●前々回メークアップされた方／寺村明之会員、熨斗克典会員

ニコニコ BOX 1件 累計 1,000円 27,000円

募金箱 累計 4,503円 70,713円

幹事報告

開地俊昭副幹事



・エコキヤップの連絡

今回 6,106 個、累計 208,464 個 (11.18 時点)

皆様ご協力をお願いします。

入会式

日高安隆様
(株)宮崎設計

推薦者
大迫雅浩会員



親睦委員会

村野 裕委員



・宮崎南RC品儀ゴルフコンペの案内

12月20日(日) ハイビスカス

8:51スタート

・12月21日(月)年末家族懇親会

ディアマンリージュ 18:30~

景品を12月7日(月)までにお願いします。

Rotary ロータリー情報

●卓話(Speech)

ロータリーにおいてスピーチという通例、例会での卓話を指すことが多い。会員外の人を招いてスピーカーとして新知識を求めるのも良いし、会員相互の職業および考え方を知るという意味では、会員自身による卓話も有意義である。

ニコニコBOX



中川英治会員

11月27日より居酒屋焼隠をオープンしました。南恵比須ビル1F
牛タンメインで地鶏、魚、刺身ございます。宜しくお願ひします。

本日のプログラム ゲスト卓話

勢井由美子会員(宮崎アカデミーRC)



愛が消えるということ 生きるということ

☆2019年現在 東北地方のみ…

犠牲者約2万人。行方不明者2534人。

避難生活者約 5万4000人。

仮設住宅入居者数 約5000人

☆片親を亡くした子供は1567人。

両親を亡くした子供は241人

☆両親を亡くした子供たちの241人中79名は養護施設
や親族ではない養育里親に引き取られた。

☆4歳の女の子…一瞬にして津波で両親を失った…

1時間かけてママへ手紙を書いたことが新聞に載った。

ママへ、生きてるといいね、ママ、元気？

☆災害給付金の手続きをするために陸前高田市役所の職員がある女性の仮設住宅へ伺った時のこと。後は印鑑を押すだけになった時、その女性は、机を叩きながらこう言った…おらあ、金なんかいらねええ…息子をかえしてけれ…と。

しかし、その職員も恋人を津波で亡くしていた…

幾重にも重なる悲しみが続いていたあのころ…

☆陸前高田市の盛土（埋め立て工事）開始直前の夕方、市民の方々が埋まってしまう土地にやってきた。ある男性がこう言った「埋め立てするの、やめてけれ…むすめっこ、さがせねぐねる…」

こんなにもはやく お母さんが

亡くなるんだったら 僕は生まれなければ
良かった

卓話でお時間が来てしまって話せなかったことを書きます。

『あなたの同僚は死んだのに何故あなただけが生きているの？』『私は生きていていいの？』と悩みながら生きている人々のなんと多いことか。

サバイバーズギルツ

【生きていることへの罪悪感】について。

防災に努め、必死に逃げ延びた…その先に、色々な罪悪感を背負いながら、仮設住宅に住み、生きづらさをとことん抱えながら生きてゆかねばならないのかもしれない…

防災とは、生きるためのもの…

でも、もしかすると、目に前にいる人の命を見捨てないといけない状況があるかもしれない…

それでも、私は、どんな状況であろうとも誰一人として、人は生きるという選択をしなければならないんだと強く思っています。

朝ドラのように、入院患者さんを捨てては逃げられないっていう気持ちわかるのです…でも、私は、それが自分の娘だったとしたら、絶対に、逃げなさいと言う思います。ただ…ただ…例外としては、もし自分の娘ががれきの下敷きになって救い出せないとしたら…私は、娘と一緒に最後までそばにいるって思います。

津波てんでんこは、「自分の命は自分で守れ」になるといいます。

また、「自分自身は助かり他人を助けられなかつたとしてもそれを非難しない」という不文律でもあります。

災害後のサバイバーズ・ギルト対策や人間関係修復はとっても大切になっていきます。その為には10年20年と心の回復支援は欠かせないことになります。

最後に。

2003年私は、陸前高田市主催でコンサートしています。その時の担当課26名全員が津波に流されました。それがきっかけで陸前高田市支援を始めました。

私は被災地支援を通して、命のこと、人の愛について沢山知ることになりました。

東日本大震災から10年。

願わくば、あの日生まれた赤ちゃんが二十歳になるまで、そう、後10年、被災した方々に寄り添っていけたらなって思っています。

そして、笑顔の花束がお届けできるようなロータリーアンになりたい、そしてお世話になってきたロータリーに自分にできることは何でも一生懸命させて頂きたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました。